

「かいわれの会」とは



環境に関する仕事や活動をしている人は、皆それぞれに“想い”を持っています。

でもそんな想いをずっと続けていくことは、結構ムズカシイ…。

想いを持ち続けるコツは、仲間がいること。いいツナガリを持っていること。

そこで、”10年繋がれる仲間を作り”と”地域を楽しくしていくこと”を目的に
2007年3月この集まりが出来ました。

今は、2ヶ月に一度、日本全国からゲストを呼んだ勉強会と交流会を開催していて、
毎回 20人～30人くらいの岡山県内で活躍する若手社会人や学生、
ボランティア団体などの方が参加しています。

かいわれの会の名前は、若いエネルギーのある人たちが集まっている姿が、
カイワレ大根の栄養ある新芽が集まっているイメージに似ていたから付けました。
後付けで、次のような略もつけてます。

か・環境に **い**・一生懸命な **れ**・若い人の **れ**・連携

私たちの活動内容や個人個人の考えに直に触れてもらいや、何かを感じて
もらうことで、「オレは、私は、こういう活動を今後やってみたい…かな?」とか
「環境よりも○○に興味があることがわかった」
など、何かこれからヒントを少しでも持ち帰って貰えたらうれしいです。

どんな活動をしているの？

かいわれの会 勉強 & 交流会

岡山にいるだけでは、中々刺激が受けられない！刺激がないと、
やる気もツヅカナイ！それなら、刺激的な人を招待して、自分たちのやる気につけ
あげてしまえ！

ということで、主に2ヶ月に一度、日本全国からメンバーのツナガリなどで全国
で活躍する刺激たっぷりのゲストを呼んだ勉強会と交流会を開催しています。

だっぴイベント

そうは言っても、かいわれに参加している人達のベクトルは
結構バラバラ(笑)そこで、地域を良くしたい貢献したいという目的は同じなので、
年に一度、自主イベントを開催してみんなが同じテーマを共有できるイベントを開催することにしました。

それがだっぴイベントです。勉強会が受け身的であるのに対して、こちらは私たち自身が発信者になろうという企画です。

詳細はコチラ！ [\[かいわれ だっぴ ブログ\]](#) [\[検索\]](#) [\[Click!\]](#)

かいわれの会の足あと

		2007年	3/24 第1回交流会 27名参加(交流会のみ)
		7/21	第2回交流会 12名参加(交流会のみ)
		12/18	第3回勉強&交流会 25名参加(塩澤寿一氏を招いた勉強会)
		2008年	1/19 第4回勉強&交流会 29名参加(川北秀人氏(IHOE)を招いた勉強会)
		3/8	だっぴ2009開催 87名参加
		5/20	第5回勉強&交流会 23名参加(高野雅夫氏(名古屋大教授)を招いた勉強会)
		7/4	第6回勉強&交流会 20名参加(メンバーによる話題提供)
		8/15	第7回勉強&交流会 25名参加(岩手県地球温暖化防止活動推進センター招待)
		11/23	第8回勉強&交流会 25名参加(気候ネットワーク 桜井貴子氏を招いた勉強会)
		2009年	5/7 第9回勉強&交流会 30名参加(環境市民 内田香奈氏を招いた勉強会)
		7/2	第10回勉強&交流会 25名参加(明和製紙原料株式会社 小六社長を招いた勉強会)
		9/6	国際音楽交流などに取り組む名古屋の環音の皆さんを招待して、 東ティモールを題材とした自主制作映画の上映会と 音楽トークライブを開催 約60人参加
		10/22	第11回勉強&交流会 27名参加(中村 哲雄氏(岩手県葛巻町 前町長))
		2010年	1/21 第12回勉強&交流会 32名参加(環境省 水信氏による話題提供)

終わらせません！
ただの願望
では

[かいわれの仲間たち] Kaiware members

かいわれには、実に様々な仲間がいます。例えばモノ作り、フェアトレード、自然体験、政策、学生などなど、多方面で活躍する人たちばかり。みんな、歳も仕事も趣味だってバラバラです。そして、最初は一人でした。

繋がった人たちに共通していたのはただ一つ。

「岡山を良くしたい、環境を守りたい」という思いなんです。楽しく明るく前向きに、特に元気なメンバーを紹介します！



里山農場 浜崎 洸(25) kou hamazaki

里山農場の環境担当をしている。大学では機械工学を勉強していたが、あるきっかけで環境教育と農業にシフト。学校を休めし教育施設で2年間、後に退職し循環農業を実践している里山農場へ。

現在は、農場のお煎餅を焼く仕事をしながら、教育プログラムの計画、バイオガスプラントの設置、トラクターのメンテナンスなど農場における幅広い環境の担当をしている。

主な活動拠点／岡山市 HP://http://satoyama-farm.com/ ブログ//ameblo.jp/jacobsons-flehamen/



打楽器奏者 森本 奈津江(30) natsue morimoto

音楽ワークショップや地域の集会など、お声がかかれば楽器を抱えて出掛けている。

音の源になるのは美しい緑や空、海。

今日も太陽の光に照らされて太鼓を叩く。地球上に感謝。



玉置 麻子(29) asako tamaoki

岡山県ボランティア・NPO支援センター勤務(非常勤)。

県内のコミュニティーソーシャルビジネスを調査し、興味のある人ややりたい人への役立ち本をつくる事業を担当。コミュニティビジネスネットワーク岡山にも所属し、もうひとつの働き方を広める活動をしている。

興味関心は環境問題、国際協力、語学の勉強、安全な食と農、地域おこし、NPOマネジメントなどなど、フェアトレード会社の勤務経験もあり、フェアトレードの講座も時折行う。

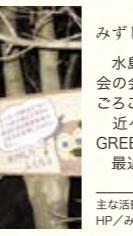
主な活動拠点／津市市 勤務先／岡山県ボランティア・NPO活動支援センター HP://www.youic-c.com/ 个人ブログ//shitoriyasa.blog16.fc2.com/



かいわれ代表 環境学習センター「アスエコ」

地域に根差した形で環境学習をしたい！その想いのもと、天気予報会社を辞め、地元の環境財団に1年間。と同時に環境の分野で若い意欲のある人たちがお互いにツナガル場がないことに疑問を持ち、10年繋がれる場を作ろうと「かいわれの会」を立ち上げる。

今の社会はこれまでにない変化の時代！だからこそ、10年繋がって魅力ある岡山にしたい。



みずしま財團 しらが かなこ(33) kanako shiraga

水島で環境再生、まちづくりをしている他、倉敷市自然史博物館友の会の会報編集なども行う。ちなみに、もともとは地学屋で、家に、石がごろごろしている。

近々のやらねばねは「岡山・山・岩石」などの出版。宝探しが好きで、GREENDAYやチボリ公園で宝探しイベントも行った。

最近は、リアル脱出ゲームが気になる。

主な活動拠点／県内 HP://mizushima-f.or.jp/



体音・子宮 詩礼 純子=okametic!(33) okame-chan

歌い手、LIVE・イベントの企画制作。ゴスペルを基本にした音楽ワークショップの企画運営、空間プロデュース、DTPデザインが主な活動。「人が繋がり育つ音楽のある空間作り、導音作り」をモットーに様々なアプローチを模索展開。

2010年は2月～5月公募プロジェクトと共同開催「命を唄い、命を舞う」ワークショップからスタート♪



エコライフ商友 河野 慶治(31) keiji kouno

2005年4月、(有)商友(一般廃棄物収集運搬、下水道管理事業等) 代表取締役に就任し、社名を(有)エコライフ商友に改名。

同年11月、「バイオディーゼル燃料事業」や「生ごみ堆肥化事業」等のリサイクル事業を新しく始める。

2007年、現代農業の生産・流通システムに問題点を感じ、「新しい農業システム」の構築を図るべく活動する。

主な活動拠点／真庭市 HP://ecolife-shoyu.co.jp/



タプラサ 河上 直美(34) naomi kawakami

軽い気持ちで関わ始めたタプラサの活動も6年目。理事長としてエコの要素を取り入れた街づくりを展開。リユース食器の普及、キャンドルナイトの開催、リサイクルキャンドルの生産、白石島でのオーガニックコットンの栽培、旅館のエコプロデュースなど。

エコは単独では存在しない。タプラサのスタイルは何かとコラボし、環境問題やエコについて考えるきっかけを楽しむオシャレに提案すること。エコな岡山になれば、もっと魅力的な街になるはず！



TTTプロジェクト 高橋 真一(35) shinichi takahashi

ファッションやアート、デザインによる様々な展示、企画、イベントを通じて持続可能な環境づくりを展開。リユース食器の普及、キャンドルナイトの開催、リサイクルキャンドルの生産、白石島でのオーガニックコットンの栽培、旅館のエコプロデュースなど。

普段はアサソンオーナーであり、スタイリストとしても活躍。環境净化を目的としたアサソンづくりをしている。

また、今年一月に親会社として株式会社ブルービジョンを設立。より内容を充実させるべく活動展開中。



水信 亜衣(27) ai mizushima

大学で環境教育と出会い。環境教育の中でも、野外活動を行い、自然サイクルへの理解から環境問題への关心・理解を促す活動をメインに、自分なりのやり方を模索。

現在は、自然を五感で体感する「ネイチャーゲーム」や、ロープを使った木登りプログラム「ツリーリング」を切り口に、まずは自然の楽しさ素晴らしさ、それから夢やもろさを感じてもらい、身の回りの環境について自然に思いやれる心を育むため奮闘中！



井筒 耕平(34) 木綿子(25) & Yuko

コーハイ(名古屋大学院博士課程/備前グリーンエネルギー(株))と、もめ(MI MI 総合映像大学)の夫婦ユニット。

2人の拠点であるmenpei荘を訪れる「来m(ライム)プロジェクト」では1年間に渡るべく200名以上が参加。「ジャンルを越えた対話の蓄積」を実践中。

主な活動拠点／吉永 HP://http://www.menpei.com/ ブログ//menpei.blog16.fc2.com/



寺 江口 和代(26) kazuyoshi eguchi

「傾聴」「三方よし」「もったいない」の精神を大切に、掃除やお接待をして日々過ごしている。まだ修行が足りないなあと思いながら、出会った方とのつながりを大切にして自分に出来る事から実践中。

学童保育指導員、児童養護施設職員を経て、現在家業の手伝い兼自然食品店販売スタッフ。2008年度岡山市芸術祭参加事業(アートイベント)企画、京橋アート村コミュニティ等参加。

主な活動拠点／岡山市